

奄美群島森林生態系保護地域の課題(例)

奄美群島森林生態系保護地域に係る課題(例)を概ね整理すると以下のとおり

1, 森林生態系保護地域としての適切な管理の推進

課題(例)

- ① 「登山道」とその管理主体が不明
- ② 周辺の森林との森林管理における連携
- ③ 昆虫採集を目的とする入林者が多い
- ④ 過去に植物の盗掘があったとされるほか、今後も盗掘が懸念される
- ⑤ スギ人工林の取扱い
- ⑥ 松枯れにともなう植生遷移データの欠如、着生植物の枯死
- ⑦ ペットの遺棄

2, 貴重な森林生態系の価値を損なわない適正な利用の推進

課題(例)

- ⑧ 金作原へのバスの入り込み
- ⑨ 金作原林道の一般車両の入り込み
- ⑩ トイレの必要性
- ⑪ 樹名板が古く、すでに枯損しているものが見られる
- ⑫ ナイトツアーでのマナー問題。先行車両(速度20km遵守車)の追い越しや、アマミノクロウサギ以外の関心の低さ(希少カエル類等の交通事故の頻発)。
- ⑬ ナイトツアーでの特定路線の過剰利用
- ⑭ ツアー参加者への希少植物の生息場所情報流出による盗掘の発生
- ⑮ 新規参入業者の増加によるガイドの質の低下

3, 適確な現状把握とモニタリング

課題(例)

- ⑯ 将来の観光客が増えた場合の利用の一極集中による影響の懸念
- ⑰ モニタリング調査結果の分析、およびそれを受けた対策が未実施。
- ⑱ 関係機関ごとに個別に実施されているモニタリング調査

4, 利用者等への情報の提供・普及啓発

課題(例)

- ⑲ 森林生態系保護地域の設定を知らない観光客・地元住民が多い。
- ⑳ 森林生態系保護地域に関する制度面の説明が無く、禁止事項等が不明。また、制限事項の説明だけでなく、保護林の貴重さ、保護していることの意義をアピールすることも必要。

5, その他

課題(例)